

科目名 Course Name	哲学応用 Applied Philosophy				ナンバリング No.	A3-007	
年次	2 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	廣澤 圭則						
連絡方法	質問等は授業終了後、あるいは C-Learning で対応。						
必修／選択	選択						
関連 DP	DP2, DP3, DP4						
授業の概要と到達目標	近代思想、ハンナ・アーレントと全体主義について学習を行うものとする。 ① 本授業を通して、自分の思考を自身の言葉で述べるようにする。 ② 近代思想について、深い教養と洞察を身に着けることができる。 ③ 本授業をとおして、思考することの重要性について学ぶことができる。						
授業の方法	入門書を準備し、皆で読み進めながら学習するミニゼミ方式にて授業を行う。 パワーポイントを用いた講義を行い、内容を補完するものとする。 生徒諸君の理解度を図るため、期末試験に該当するプレゼンテーション発表を実施する。						
学習成果	L01	社会人、職業人において必要とされる、思考力、問題解決能力を養うことができる。 授業を通して、自らの思考を述べることができる。					
	L02	哲学的思考を学ぶことで、多面的な視点、思考を身に着けることができる。 自分の考えを、自らの言葉で、明瞭に述べることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	授業について質問があった際はメールまたは 文書にて各自フィードバックする。						
教科書／参考図書	仲正昌樹『悪と全体主義 ハンナ・アーレントから考える』NHK出版新書						
履修上の留意点やルール等	① 折を見て質問を投げかけるので、生徒諸君は質問に回答できるようにしておくこと。 ② チャイムが鳴った後の遅刻は原則認めず、欠席とするので注意すること。 ③ 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:サービス業 職歴:14 年) (科目名:国際文化論入門) 民間企業における管理職経験から社会人になる生徒諸君が自分で思考したことを、自分の言葉で話せるよう、講義を通して導いていく。						

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	授業に参加する積極的態、こちらからの質問に対して自身の意見を明瞭に述べられた場合は満点する。		30				
レポート／作品	出欠確認も兼ねたレポートを提出してもら。授業に対する理解が示された場合、既定提出回数に到達した場合は満点とする。		15				
発表	プレゼンテーションを実施してもら。発表内容と質疑応答について、自身の考察が明瞭かつ論理的に述べられていた場合は満点とする。	40					
小テスト	授業の理解度を示すため、適宜実施する。		15				
試験							
その他							
合 計		40	60				

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(学習成果、成績評価等についての説明)、なぜ今アーレントを読むか
	事前・事後学習	指定テキストを流し読みし、全体主義という概念について把握しておくこと
2	授業内容	序章:『全体主義の起原』はなぜ難しいのか
	事前・事後学習	『全体主義の起原』と現代社会との相似点を考えておくこと
3	授業内容	第1章:ユダヤ人という「内なる異分子」 欧州に根付くユダヤ人憎悪と国民国家
	事前・事後学習	ユダヤ人とその歴史について予習しておくこと
4	授業内容	第1章:ユダヤ人という「内なる異分子」 顕在化する反ユダヤ主義と構造的差別
	事前・事後学習	近代国家と反ユダヤ主義の関連について学習しておくこと
5	授業内容	第2章:「人種思想」は帝国主義から生まれた 帝国主義と人種思想
	事前・事後学習	国民国家にて芽生えた「人種」思想について学習しておくこと
6	授業内容	第2章:「人種思想」は帝国主義から生まれた 民族的ナショナリズムの成り立ち
	事前・事後学習	民族主義ナショナリズムについて学習しておくこと
7	授業内容	第2章:「人種思想」は帝国主義から生まれた 国民国家の衰退と同一性
	事前・事後学習	同一性とは何かを独自に調べておくこと
8	授業内容	第3章:大衆は「世界観」を欲望する 大衆の誕生と陰謀論
	事前・事後学習	本章で学ぶ陰謀論と現代に氾濫する陰謀論の違いについて学習しておくこと
9	授業内容	第3章:大衆は「世界観」を欲望する ユダヤ人悪玉論と「運動」としての全体主義
	事前・事後学習	アーレントが全体主義を「国家」ではなく「運動」と論じた理由を考えておくこと
10	授業内容	第3章:大衆は「世界観」を欲望する ユダヤ人の計画的絶滅と道徳的人格の破壊
	事前・事後学習	アーレントのアイヒマンに対する考察について、自分なりに検証すること
11	授業内容	第4章:「凡庸」な悪の正体 アイヒマン裁判から見える服従の心理
	事前・事後学習	ミルグラム事件とその結果について、自身の見解を述べられるようにしておくこと
12	授業内容	第4章:「凡庸」な悪の正体 アイヒマンの罪とミルグラム実験
	事前・事後学習	アーレントの説く「人間」について、述べられるようにしておくこと
13	授業内容	終章:「人間」であるために 人間とは何か、無思想性のもたらすもの
	事前・事後学習	現代社会における「複数性」の重要性を述べられるようにしておくこと
14	授業内容	終章:「人間」であるために 「複数性」の大切さについて
	事前・事後学習	総括として、現代社会における全体主義の可能性を自分なりに考えておくこと
15	授業内容	学生によるプレゼンテーション
	事前・事後学習	期末試験に備えて自主学習をしておくこと